

ぐるぐる
グリッピ
福岡市花と緑のマスコットキャラクターグリッピのお話

Vol. 20

東平尾公園でスポーツの巻

春の東平尾公園で
いろんなスポーツに
チャレンジ!

夢中になりすぎて
お花のお世話を
忘れるところ
だった...

福岡市都市緑化基金へのご寄付 ありがとうございます。

- ・イデアパートナーズ株式会社
- ・福岡県行政書士会福岡中央支部
- ・舞鶴公園フラワーボランティア

令和2年2月1日～令和3年1月31日の間に
ご寄付いただいた企業・団体・50音順、敬称略

皆さまのご支援は
福岡市の緑化推進に
役立てられています。

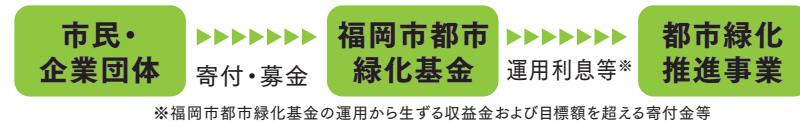
- 【緑化助成事業(民有地緑化の助成)】
- 【緑の活動支援事業(緑化活動団体の支援)】
- 【都市緑化の普及啓発】

詳しくは緑のまちづくり協会ホームページを
ご覧ください。

福岡市都市緑化基金のしくみ 寄付金の税額控除が適用されます。

福岡市都市緑化基金は、(公財)福岡市緑のまちづくり協会が運営母体となり、
市民のみならず民間企業からいただいた寄付金を積み立て、
その運用利息等を利用して、都市の緑化を進めるための基金です。

基金のしくみ



寄付・募金をお願い

基金の募金箱は福岡市植物園、福岡市情報プラザ(福岡市役所1F)などに
設置しています。みなさまのご協力をお願いします。

おもてなし花壇事業のご案内

福岡都市部に「皆さまの花壇」を持ちませんか？

福岡市では、市民や企業・行政が力を合わせ、花
と緑を育てること、まちが彩りや潤いにあふれ、
誰もが福岡に親しみや愛着を持ち、豊かな心が
育まれる一人一花運動の一環として、歩道や中央
分離帯などに、花を植え、街を彩るために協賛い
ただけるスポンサー企業を募集しております。
興味のある方はお気軽にお問い合わせください。
福岡市一人一花推進課 092-711-4424



福岡市 おもてなし花壇 検索

寄付金の 税控除について

「福岡市都市緑化基金」に対する寄付には、所得税、
福岡市の個人住民税で、寄付をした翌年の寄付金税
額控除の適用が受けられます。
(手続きなど、詳しくは、お気軽にご相談ください)

募金についての お申し込み・ご相談は

(公財)福岡市緑のまちづくり協会 みどり課 企画推進係

TEL:092-822-5832

協会本部事務所 〒814-0001 福岡市早良区百道浜 2-3-26 福岡タワーセンタービル 2F TEL 092-822-5832 FAX 092-822-5848	東平尾公園管理事務所 〒812-0852 福岡市博多区東平尾公園2-1-2 (陸上競技場入口) TEL 092-611-1515 FAX 092-611-8988	舞鶴公園管理事務所 〒810-0043 福岡市中央区城内 1-4 (陸上競技場入口) TEL 092-781-2153 FAX 092-715-7590
--	--	---

公益財団法人
福岡市緑のまちづくり協会

www.midorimachi.jp

緑のまちづくり協会 検索

福岡の花と緑の情報誌

まちとみどり

2021 春・夏号 Vol. 40

公益財団法人
福岡市緑のまちづくり協会



スポーツと自然の森 東平尾公園

スポーツを楽しむ/自然を楽しむ/憩いの場として

オンライン一人一花サミット

- 花を通して、優しさや思いやり、感謝の心を育みたい。
緑のコーディネーター紹介 小寺 福代さん

- “草場”が実っていきますように「草の実会」の活動で
花いっぱい、笑顔いっぱい
活動団体紹介 「草の実会」

- 第18回 花と緑のまちづくり賞
受賞団体紹介



まちとみどり

Vol.40 2021 春・夏号
令和3年3月8日発行(年2回発行)

発行・編集／公益財団法人福岡市緑のまちづくり協会
制作・印刷／アド印刷株式会社

発行・編集／公益財団法人福岡市緑のまちづくり協会
制作・印刷／アド印刷株式会社

この冊子は福岡市都市緑化基金の運用利息などにより発行しています。

スポーツと自然の森 東平尾公園

プロ、アマチュアスポーツから、こどもたちの遊具広場、
多様性あふれる森の豊かな自然。
いろんな要素がぎゅっと詰まった
東平尾公園のみどころをご紹介します！



東平尾公園でスポーツを楽しむ

ベスト電器スタジアム



まぶしい芝に、はずむボール！光る汗!! Jリーグアビスパ福岡のホームスタジアムとしてもおなじみ。ラグビー、アメリカンフットボールの試合も開催されます。メインスタンドは、最新機能を備えた地下1階地上5階建て。

スタッフの声

飛松 幸憲さん
今シーズンはアビスパ福岡もJ1へ昇格し、いつも増して活気あふれる白熱した試合が観戦できると思います。体育館もフットサル、バスケ、ハンドボールとさまざまなスポーツができるよう設備を整え、皆様のお越しをお待ちしております。



テニス競技場



「人に優しく自然と共鳴するコロシアム」をコンセプトにつくられたセンターコート、青空と緑に包まれた屋外コートと、明るい照明の屋内コート。コートは砂入り人工芝、テレビ中継に対応する放送室や夜間照明も完備し、国際クラスの競技会の舞台ともなります。

スタッフの声

石神 鉄美さん
毎年3月には国際女子テニス大会が開催され、各国からこの博多の森で熱戦が繰り広げられています。一般利用も気軽にお申し込みできますので、観戦・プレー問わずぜひ遊びにきてください。



陸上競技場・補助競技場



記録と感動を生み出すトラック&フィールド。鮮やかな緑のフィールドに褐色のトラックがはえる競技場は、電光掲示板や炬火台、雨天練習走路などの設備を完備。3万人のギャラリーを収容できるスタンドは、全方形式です。

スタッフの声

安武 直樹さん
福岡県では唯一の国際大会もできる第一種競技場です。来年からは中学生だけでなく高校生の駅伝大会も開催されます。チビッコ達対象の「走り方教室」も毎年すごい人気です。



大谷広場



思い切り遊ぼう！自然はみんなの友達！冒険コーナーにはアスレチック遊具が26種類もあります。ソリゲレンデもあり、1日中楽しめます。

スタッフの声

吉田 信幸さん
ソリゲレンデをはじめローラーライダー等、街中の公園にはない遊具がたくさんそろっています。小さいお子さんがいるご家族にお勧めです。夏休みには「じゃぶじゃぶ池」に涼みに来てください。



野球場



3つの野球場があり、少年野球大会や職場の野球大会など、広く一般の方々が利用できます。

- ・第1野球場 (ソフトボール専用) 両翼/73m、センター/88m
- ・第2野球場 (ソフトボール、投てき練習場)
- ・第3野球場 (軟式、ソフトボール) 両翼/80m、センター/100m

スタッフの声

竹下 新一さん
第1、第2野球場はソフトボール、第3野球場は軟式野球ができます。緑の中でのびのびとプレーしてみたいいかがですか？



弓道場



10人立の近的射場、6人立の遠的射場を備えた弓道場。各種大会上級指導者研修会、愛好家の方々の練習まで幅広く利用されています。

スタッフの声

向吉 弘巳さん
福岡で唯一、遠的(2的)と近的(8的)を備えた設備が整っています。弓道人口も増えてきています。特に高校生が多くなってきています。皆様が気持ちよく射てるよう、安土(あづち)や的の整備を毎日がんばっています。



東平尾公園で自然を楽しむ 見所 MAP

タイサンボク
5〜7月頃白色の美しい花を咲かせます。

ツツジ
花が咲く春先の4〜5月が見頃です。

メタセコイア群落
春の新緑、秋の黄葉が美しいです。

四季の花壇
季節の花を楽しめる花ごや花壇があります。

アメリカフウ
春の新緑、秋の紅葉が楽しめます。

サクラの広場
ベニシダレ系、八重系(カイゼン、ヨウコウ等)の桜も楽しめます。

ナンキンハゼの街路樹
春は遅く芽吹き、秋は鮮紅色となる紅葉が美しいです。

ヤマモミジ
紅葉が美しい木です。

花見スポット
・ソメイヨシノとオオシマザクラなどがあり春は花見客で賑わいます。
・オオシマザクラは紅葉も楽しめます。
・東月隈や志免町から若杉山方面の眺望も優れています。

トチノキ
樹形が整った点景木。秋は実をつけます。

ドングリがなる木々
クヌギ、コナラ、アベマキ等。

ユリノキの大木
黄葉が美しいです。

水辺のホタル
夏の水辺にホタルが現れます。

ヤマモモの大木
樹齢も古く大木。夏に実をつけます。

野鳥の観察
野鳥の水場で数多くの種類がみられます。

さまざまな昆虫たち
夏になると、ハンミョウやカブトムシなど様々な昆虫がみられます。

日本庭園風の植栽
モミジなどで春の新緑と秋の紅葉が美しい場所です。

珍しい樹形の常緑樹
珍しい樹形のカクレミノ、クスノキの株立ちを見ることができます。

東平尾公園は標高20〜80mの低丘陵地。植栽を整備する前から、木々や自然が多く残る豊かな森です。

サクラ

知られざる桜の名所

福岡市では舞鶴公園や西公園のサクラが有名ですが、実は東平尾公園のサクラも隠れスポットとして訪れるお客さんの目をいやしてくれています。公園内各所にはソメイヨシノをはじめとするサクラが約1,600本植栽されています。まず3月初旬から「カンザクラ(陽光桜)」中旬から「ソメイヨシノ」4月上旬から中旬に「八重桜」と違う魅力を楽しむことができます。

1日ずつ表情の変わるサクラを見にきてください

ユニバーシアード平和記念の杜には1995年に開催されたユニバーシアードで記念植樹された、珍しい品種のサクラが植えられています。一重や八重、桃色や白色、1日ずつ表情の変わるサクラを是非見にきてください。

スタッフ 貞末 永遠さん

天然芝

複数の種類の芝を育て 緑色の芝生を保っています

博多の森陸上競技場、補助競技場、ベスト電器スタジアムには、天然芝のピッチがあり、リーグやラグビートップリーグ、国際大会なども行われます。陸上競技場、ベスト電器スタジアムには、夏季は暖地型芝(バミュダグラス)、冬季は休眠するバミュダグラスの上に寒地型芝(ペレニアルライグラス)の種を撒き育成することで、年中緑色の芝生を保っています。

試合観戦の際は、芝生にも注目してみてください

管理で大切なことは芝生の状態をみながら環境を考慮し、作業を行うことです。サッカーはボールコントロールをしやすいうような短めの草丈、ラグビーは転倒などの衝撃緩和を重視し長めの草丈が好まれるため、競技種目に応じ草丈を変えています。試合観戦の際は芝生にも注目してみてください!

スタッフ 平田 和子さん

きのこ

多種の木々による自然の森だからきのこの種類も多い

東平尾公園には自然の木々がつくる森が広がっています。この多様性のある環境がきのこにとっても貴重な場所となっています。きのこは、枯れた木や落ち葉、動物のフンや死骸を分解して森をきれいにする「そうじ屋」としての役割を持つ重要な生物。森の中では沢山のきのこたちがいろんな場所でいろんな生態で生きており、それを観察する「きのこ観察会」も行われています。

↑大変珍しい「ルリハツタケ」も観察できました。→同定(分類上の所属を決定すること)ができるだけで20〜30種観察できます。

自分自身が楽しんで観察しています

「福岡きのこの会」で東平尾公園のきのこ観察会に協力しています。東平尾公園は、観察の場としてはおもしろい場所です。毎回発見や驚きがあり、それを楽しんでいます。ぜひ観察会で知って欲しいです。

福岡きのこの会 尾仲 正好さん

花菖蒲

5月下旬から7月中旬に見頃を迎えます

ベスト電器スタジアム東側の調整池周辺には5月下旬から7月中旬にかけて、菖蒲(ショウブ)の花が一斉に咲き、水辺に浮かぶ色とりどりの花菖蒲が目飛び込んできます。鉢植えで咲かせたものを花瓶挿しなどの観賞用として改良された「肥後系」、池畔や水田などに植え群生美を楽しむために改良された「江戸系」、丈が高く鉢植えが基本とされる「伊勢系」など、17種類3,000本が植生しています。

新緑とのコントラストがとてもきれいです

珍しい品種の「佐野の渡」「七彩の夢」や「清少納言」などみることができます。紫、白、黄色の彩り豊かな花菖蒲の背景は、緑豊かな東平尾丘陵地を覆う新緑とのコントラストがとてもきれいです。

スタッフ 澤城 淳三さん

憩いの場として

恵まれた自然だからこそ
鳥や虫にとっても憩いの場に。

野鳥 水辺や木々には野鳥もやってきます。渡り鳥と合わせて約60種類以上が見られます。



東平尾公園を訪れる野鳥



コゲラ



シジュウカラ

昆虫 多くの種類の樹木がある東平尾公園内にはたくさんの昆虫も生息しています。



昆虫観察会を行っています！
毎年実施。たくさんの虫を見ることができますよ。



座学



観察



検証

今年はライトトラップ観察会も計画中

緑のコーディネーター 富永 誠さん
東平尾公園の森では、夏になるとハンミョウやカブトムシなどが見られるようになります。今年の夏は森の中の昆虫を光で呼び寄せるライトトラップを計画しています。



地質について

東平尾の地質は石炭層を含む古第三系の堆積岩です。珪化木という樹木が二酸化ケイ素(シリカ)となった所や、石炭塊など見ることができます。



石炭層

珪化木

東平尾公園の史跡



四王寺丘陵の南側標高30mの位置に、弥生時代の共同墓地である国史跡金隈遺跡が所在します。弥生時代から古墳時代にかけても墳墓として使われていた可能性が高い土地です。また、江戸時代はハゼロウヤフンセキの採取を主とした里山であった形跡があります。

美術・モニュメント



ユニバーシアード記念
平和の杜モニュメント
(堤広場)

第18回ユニバーシアード大会1995福岡を記念し整備したものです。台座に福岡大会の「基本理念」と大会開催を契機に宣言された「国際スポーツ都市宣言」を記してあります。



あふれる光の中で
(テニス競技場)

すらりとした台座は、大空の高みを指しています。その上にさらに勢いをまして躍動する若人たちの姿。からだいっぱい陽光を浴びて楽しく、よりたくましく生きることへのすばらしさを謳いあげてます。



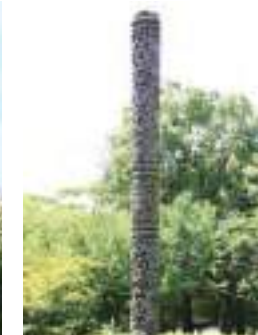
輝・翔
(陸上競技場)

福岡市出身の彫刻家・望月菊磨氏の作品です。斜めに輝く半円柱は若さ、未来、力、動きを表し、直立する柔らかい光の半円柱は静、安定、柔らかい心を表しています。



ピン・パン・プーン
(ベスト電器スタジアム)

フランスのフェデリカ・マッタの作品。サッカーゲームと日本をモチーフに遊び感覚で表現したオブジェです。ボールは風に吹かれて回転し、彫刻全体がサッカープレー中の動きと試合運びの様子が表現されています。



ケリリエン
(堤広場)

東マレーシア・サラワクのカヤン族が、部族の安全を祈って建てるのが、このケリリエン。1989年アジア太平洋博で展示されたのち、この場所へ移されました。飾りは同じサラワクのインバ族がサイ鳥をモチーフに作ったものです。

公園の環境を守るために

外来種の持ち込みを禁止しています。

外来種は生態系のみならず、人間や農林水産業まで、幅広くに悪影響を及ぼす場合があります。東平尾公園にもミシシippアカミガメなど外来種が持ち込まれています。豊かな自然を育んできた公園が失われるかもしれません。絶対に外来種を持ち込まないでください。



ミシシipp
アカミガメ

ノラネコ問題

去勢・避妊手術をしていないと、どんどん子猫が増えてしまいます。臭いやフンの問題もありますが、子猫が増えると、カラスにいじめられたり、交通事故で死んでしまったりと、逆にかわいそうなことになってしまいます。まずは、責任をもってペットを飼う！

**そして、かわいそうだからとエサをあげるのは
ヤメてください!!**

おもてなし花壇へのご協賛ありがとうございます。

これは「一人一花」^{ひとり ひと}、「一企業一花壇」^{いちぎぎょう いちかだん}を合言葉に、みなさまと進めている一人一花運動によるもので、

この「一人一花運動」の一つ、「おもてなし花壇」では、スポンサー協賛企業様を募集しています。

おもてなし景観づくりに参加してみませんか？



協賛期間 2020年4月1日～2021年3月31日

オンライン 一人一花サミット

一人一花サミットは一人一花運動に取り組む活動団体・市民・企業等の方々が一堂に集う花と緑のイベントとして、一人一花運動が始まった平成30年から開催しています。

例年、毎年秋に植物園でイベントを実施しておりましたが、令和2年度よりウィズコロナ時代の新しいイベント様式として、リアルとオンラインが融合したハイブリッド型の一人一花サミットを11月から継続して開催中です。

3Dバーチャル植物園をはじめとした、さまざまなコンテンツをWEBで楽しめます。詳しくはWEBサイトをチェック!




🌸 驚きの 3Dバーチャル植物園 🌿



一人一花サミットチャンネル

毎年、一人一花サミットには、花・緑に関係するみなさまが大集合し、表彰式やトークセッション、花・緑のワークショップ・活動紹介などを行っています。令和3年は、これらを映像コンテンツにして、さらに市内の花の名所など様々な動画も加え、「一人一花サミットチャンネル」としてお届けします。

アワード

花と緑があふれるまちづくりに大きく寄与された方々を表彰させていただいています。

トークセッション

テーマは「ウィズコロナ時代の「花による共創のまちづくり」の展開について」動画をみることができます。

ワークショップ

「多肉植物と多年草植物の寄せ植え」など、ワークショップの動画をみることができます。

NO FLOWER, NO LIFE

様々な分野で一人一花運動や、花と緑があふれるまちづくりに関わるニュースをみることができます。

シアター(ステージ)イベント

ぐるぐるグリッピ グリッピといっしょダンスなどのご紹介。覚えて一緒に踊ってみませんか?

ポットワークショップ

カンタン寄せ植えなど自宅や地域でやってみたくなる動画を配信しています。(共催) 令和2年度全国鉢物類振興プロジェクト

花を通して、優しさや思いやり、感謝の心を育みたい。



緑のコーディネーター1期生

小寺 福代さん FUKUYO KODERA

いけばな指導歴30年。池坊教授資格とフラワー装飾技能士一級(国家資格)を持ち、公民館や小学校などで幅広い年齢層に向けて、花を通して心の豊かさを育むことを目指して精力的に活動中。

植物からもらうエネルギーって本当に大きいですね。

「お花を生けるには、まず楽しくないとね」
西新公民館(福岡市早良区)で生け花教室の講師を務める小寺福代さんの教室は和やかな雰囲気です。四季を感じながら季節のお花を生ける楽しさを伝えたいという小寺さんの朗らかな声を中心に笑顔が広がります。
「挿すときは両手でね」「ああ、緑のいい香り!」「落としたお花はお皿に浮かべると、かわいいですね」「あら、いいですね～」
それにしても、お花と向き合う生徒さんの楽しそうなこと。同じ花材を使ったとは思えないほどに個性豊かな作品が並びます。

「いけばなのルーツは『供花』。仏前にお花をお供えたのが始まりです。実は昨年3月に兄を亡くしまして…しばらく前向きな気持ちが持てなかったんですが、兄への『供花』として床の間にお花を生け始めたら、ものすごいエネルギーが湧いてきたんです。植物からもらうエネルギーって本当に大きいですね」と小寺さん。その明るい笑顔の源は植物の力なのかもしれません。

同じ生き物として植物を尊敬しています。

華道歴45年の小寺さんは、フラワー装飾技能士一級という国家資格も取得、さらに花を育てる緑のコーディネーター



自分で生けた花の前でぱり!

池坊のいけばなには「立花(りっか)」「生花(しょうか)」「自由花」の3つのスタイルがありますが、この日は「自由花」のスタイルで。「フラワーアレンジメントは足し算、いけばなは引き算によって生まれた空間と一緒にデザインする、全く異質のものでいいですね」実技だけでなくいけばなの歴史や花材にしたお花の説明も。

令和3年度 福岡市緑のコーディネーター養成講座のご案内 講座は隔年開講です。

福岡市緑のコーディネーターとは
花や緑に関する専門的な知識をもち、福岡の緑化推進のための活動を行う人です。現在253名が地域の花壇作りや里山保全、緑の講座の講師など、各自の得意分野を活かし福岡市内で活躍しています。緑のまちづくり協会では、緑のコーディネーターの活動を積極的にサポートしています。

養成講座とは
福岡市内で花と緑のまちづくりの活動をするリーダー育成を目的とした講座です。終了すると福岡市長の認定を受け、正式に「福岡緑のコーディネーター」として活動することができます。

講座の内容
月2回程度、約5ヶ月にわたり講座を開催します。前半は、地域活動、市民活動の現状、団体立ち上げや運営のポイントなどについて座学を行い、後半はグループに分かれ市民緑化活動の企画、実践を行います。

募集期間 令和3年4月1日(木)～5月10日(月)

協会ホームページ <https://www.midorimachi.jp/>

問い合わせ(公財)福岡市緑のまちづくり協会 みどり課 TEL:092-822-5832

1期生としても活動を始めます。
「花を生けることと花を育てることには重なる部分が多いんです。活動を通して感じたのは、植物を育てるのも人を育てるのも同じだということ。植物も人も手をかけたぶん、それに応えてくれるんですよ」

「同じ生き物として植物を尊敬しています」という小寺さん。「汚染された土壌にはまず苔が生えて水や土壌を浄化してくれると聞いたことがあります。植物がないと人間は生きていけません。植物は有害なものを吸い上げてもそれを全部自分の中に取り込んでしまう。人間にはそんなことできませんよね。本当にすごい!」

植物を尊敬してやまないという小寺さんは、さらに言葉が続けます。

「こんな大変な世の中だから、みなさん、お花を生ける、育てるといった趣味のことは二の次、三の次になってしまいがち。でも、逆にこんな時だからこそ植物に目を向けて欲しいんです」

小寺さんの活動範囲は広く、西新小学校で伝統文化としてのいけばなの体験講師を務めるほか、ダウン症のお子さんの指導も行っているのだとか。いけばなという伝統文化を繋いでいくために、今後は特に若い人に積極的にアプローチしていきたいという小寺さんは語ります。
「私がお花に託していちばん伝えたいことは、優しさや思いやり、感謝の心なんです」

“草場”が実っていきますように 「草の実会」の活動で 花いっぱい、笑顔いっぱい

ここは糸島半島のほぼ中央に位置する西区草場。

12月とは思えないほど暖かな日曜日の朝、
気持ちよく晴れ渡った空の下で
花の植え替えを行っているのは
「草の実会」のみなさんです。



春に向けて、今日は
今年最後の植え替え
です。

美智子さん

会の発足時からずう
〜と活動が続けて
います。

民子さん

家族も「行っておい
で」って快く送り出
してくれます。

常代さん

榑崎さあ〜ん! はあ〜い!
本日のメンバーは、なんと全員“榑崎”姓



活動で余った花は持
ち帰ってうちの庭に植
えていますよ。

輝美さん

申請書などの書類関
係を担当しています。

好美さん

以前、花屋に勤めて
いました。お花が大
好きです。

明美さん

見る人がいい気持ち
になってもらえたら
いいですね。

好枝さん



ちょうどお茶の時間
かなあと思って寄っ
てみたよ。

善悟さん

善悟さんお手製の散水機!



茅野に 花を咲かせましょう!

朝9時少し前。前日のうちにふかふかに耕され
た花壇の前に、花苗をいっばいに積んだブ
ルーのトラックが停まっています。
「おはようございま〜す」「今日は暖かいね〜」
鍬やスコップを手にしたメンバーが次々に集まっ
てきました。色とりどりの花々がバランスよく、見事
な手際のよさで植えつけられていきます。メン
バーのほとんどが平成9年の会の発足時から
活動されているというだけあって、みなさん“あ・う
んの呼吸”で、ものの30〜40分ほどで花苗の植

え付けは完了。続いて、植え終わった花苗の間に
チューリップの球根を埋め込んでいく作業へ移
ります。

「こうしておく、春にきれいなチューリップが咲く
のがお楽しみ〜」と笑顔で教えてくれたのは「草
の実会」会長の榑崎美智子さん。同地区の区
画整備をきっかけに、玄関口であるこの場所に
花壇を作り、きれいな花でお出迎えしたいとい
う地域の婦人会のメンバーによって始まった活
動も今年で23年。当初は、自宅の庭でタネから
育てた花苗を植えていたのですが、今では「緑
のまちづくり協会」から助成金を受け、花苗を購
入できるようになりました。

福岡市緑のまちづくり協会の 緑の活動支援事業

市民のみなさんで結成された団体が自主的に取り組む緑化活動を育成・支援する事業です。
緑の普及啓発、地域の環境改善、地域コミュニティづくりなどを目的としています。詳しくは協会
ホームページをご覧ください。

問い合わせ (公財)福岡市緑のまちづくり協会 みどり課 企画推進係 TEL:092-822-5832

「みどりの愛護」功労者 国土交通大臣表彰受賞

さらに、同会はその長期に渡る素晴らしい活
動の功績を認められ、平成26年「みどりの愛
護」功労者国土交通大臣表彰の快挙を成し
遂げました。会長的美智子さんと好美さんは、
皇太子殿下もご臨席された徳島での表彰式
に出席。この受賞を一層の励みにして会は脈々
と継続中です。

余談ですが、メンバー18名中、16名が同じ
“榑崎”姓!お互いを名前で呼び合い、和気
藹々と活動しています。花の世話は班を決めて
当番制にしているものの「無理せず、やれる人が
やる」のがモットー。花壇の管理以外にも苔玉
づくりやフラワーアレンジメント教室・研修会な
どを行いながら、楽しく活躍しています。

草場の町の出入り
口で車の往来も多い場
所にある花壇は、四季折々に
多くの人の目を楽しませています。

「中には、わざわざ車から降りて花壇を眺めてく
る人もいて、うれしいですね。夏場の草取りや水か
けは大変ですが『きれいですね〜』って褒めてい
ただけると、やりがいを感じますよ」と美智子さん。

ご主人の善悟さんが手作りの散水機をつ
けてくれてからは、水かけも格段に楽になったの
だそう。夫婦円満、花爛漫というわけです。

植え替えて余った苗は、公民館や各家庭に
植えることで、さらに花の輪を広げています。
「そうやって草場の町全体をお花でいっぱいに、
明るくしたいですね」と語る美智子さんを中
心に「草の実会」のみなさんの笑顔が輝いてい
ました。



第18回 花と緑のまちづくり賞

表彰式令和2年10月27日

花と緑のまちづくり賞は、花と緑による潤いのある美しいまちづくりを推進するため、
花と緑のまちづくり活動に顕著な功績のあった団体を表彰するものです。
令和2年9月2日に審査委員会を開催し、本年度の受賞団体が決定しました。

総評

本年のコロナ禍の中でも「花と緑のまちづくり」はたゆみなく続けられており、酷暑のなかで涼し気に花を咲かせていました。今年は特に、土づくりに関して堆肥を自前で調達したり、自家生産して投入する取り組みがあり、落ち葉のリサイクルから始まった団体もありました。同時に花苗を自家生産し、近隣の施設や学校に供給している団体が目立ち、このことは地域の花と緑をどれほど底上げしていることか、計り知れない力となっているはずです。

今回受賞された「はかた夢松原の会」は福岡ではお馴染みですが、その活動開始から早や33年になるとのこと。長きに渡るマツの植林活動と次世代育成活動に改めて敬意を表します。博多湾は白砂青松を取り戻すことができました。

また、「舞鶴公園フラワーボランティア」は、当市の緑のコーディネーターさん達が花壇はもとより、堆肥づくりから育苗まで行い、その苗は市内各地に提供されています。この緑のコーディネーターの制度そのものが「福岡モデル」として他都市の参考になることを願っています。

もう一団体「美和台校区花いっぱいにする会」の街路花壇は堆肥を調達しての土づくりからですが、その効果は一見して明らかで、植付や除草の施工品質が高く、その結果大変ボリュームのある美しい仕上がりとなっています。花壇研究会や花壇見学会を行うなど、勉強熱心な点も窺えました。

多くの団体の皆様が、今年、この酷暑の中、コロナ対策をしながら灌水作業を続けられたことを思うと頭が下がります。どうか体調を第一に、来年の春も見事な花を咲かせてください。

審査委員長
西日本短期大学 緑地環境学科 准教授
高宮 さやか



特定非営利活動法人 はかた夢松原の会

「水と緑とまちづくり」をテーマに福岡の環境を守る活動



これまでに成木約3,500本、苗木約50,000本のクロマツを33年間にわたって植栽することで、見事に白砂青松を復活させ、現在の博多湾の景観を形作りました。成長した松原は防風、防潮、防砂の効果を発揮して福岡市の環境保全に貢献しています。

また、企業等をまきこんだ松原の保安全管理、水源地への視察や子どもたちの環境教育、学生や周辺店舗と協働しての街路花壇の管理など活動内容は多岐にわたり、活動年数の長さ、活動に関わる人数とともに圧倒的な幅広さが高く評価されました。



活動場所：博多湾沿岸(生の松原～海の中道)、国体道路沿い花壇
会員数：約100名
結成：昭和62年
活動頻度：松林保全活動[植樹、間伐](年2回)
水源地視察(年2回) 花壇管理(年間通して随時)

活動のきっかけ・目的

地行、百道、姪浜の3地区2.5キロに及ぶ広大な人工海岸に松原を復元したいと植樹を開始。現在は松林の保全活動、街路花壇の管理、水源地への視察など幅広い活動を通して地域の環境ひいては地球環境の保全並びに快適環境の形成に寄与することを目的として活動している。

舞鶴公園フラワーボランティア

舞鶴公園の花壇から福岡市内に広がる活動の輪



多くの人が利用する福岡市の顔となる公園で、来園者に喜んでもらえる花を取り入れたボリュームのある華やかなデザインの花壇になっています。さらに、自作の育苗施設や堆肥ヤードがあり、花壇に使用する花苗や堆肥を自分たちでつくり、花壇の環境に合わせた材料を費用を抑えて調達する工夫をしています。

また、会員の多くは福岡市の緑のコーディネーターであり、当団体で育てた苗や技術をそれぞれが地域で広め、福岡市内の様々な場所に花づくりの輪を広めている点が高く評価されました。



活動場所：中央区 舞鶴公園 103㎡
会員数：26名
結成：平成26年
活動頻度：植替え 年2回 草取り、水やり随時

活動のきっかけ・目的

「舞鶴公園」をPRするために花壇をつくらうという目的のもと福岡市緑のコーディネーターを中心として三ノ丸広場にある花壇を手掛けることになった。2つの公園の接点の花壇に花を植えることで、市民に憩いと心の安らぎを与えたいと思い活動している。

美和台校区花いっぱいにする会

校区に広がる、デザイン性に優れ管理の行き届いた花壇



美和台校区内の7か所に点在する花壇について、各花壇を担当する会員が細やかに手入れを行い、個性豊かなデザインの花壇となっています。生育の基盤となる土づくりを重視している点や、詳細な図面を作って植栽している点など長年の経験を生かした管理方法により、いつでも生き生きとした花が咲いているように管理されています。地域に広がる花壇管理活動を通して、地域コミュニティを活性化させ、地域の環境改善に関心を示す人を増やしているという花の持つ社会性を活かした活動が高く評価されました。



活動場所：東区 美和台校区の福工大前駅、
西鉄三苦駅、交差点、公園など7か所 130㎡
会員数：約30名
結成：平成16年
活動頻度：植替え(年2回) 草取り、水やり随時

活動のきっかけ・目的

戸建て住宅が多い地区で、地域の交流を図るために活動を開始。地域に広がる花壇の管理活動を通して美化活動を推進することにより、住民の意識向上、地域コミュニティの活性化を図り、明るく清潔で平和なまちづくりを目指して活動している。



公益財団法人

福岡市緑のまちづくり協会 事業のご案内

都市緑化などの推進(花と緑によるまちづくりの推進)

緑化活動団体を支援 市民活動団体が自主的に取り組む緑化活動を支援しています。

活動費を助成しています

地域の森づくり

市内にある樹林地などで樹木の間伐、剪定などによる森の保全、市街地に植樹を行うことによる緑の名所づくりに取り組む団体に助成金を交付。



地域の花づくり

市内にある公園や道沿い、駅前などで花壇づくりを行う団体(花壇などの面積が10㎡以上)に助成金を交付。



緑のコーディネーターの養成・紹介・派遣

紹介・派遣

市民からの依頼を受け、花壇づくりや樹木ガイド、花や緑に関する体験講座などの講師として依頼に適したコーディネーターを紹介しています。



養成講座の実施

緑に関する一定の知識・技術がある方を対象に、緑のコーディネーター養成講座全10回を実施しています(講座は隔年開催)。



緑のコーディネーターによる体験講座や自然観察会の開催



市民センター体験講座(スワッグ)



自然観察会(舞鶴公園)

緑のコーディネーターとは

市民協働による緑のまちづくりを推進するために、緑のコーディネーター養成講座を修了した方を対象に緑のコーディネーターとして市長が認定した方々で、緑化活動のリーダーや体験講座の講師などで活躍しています。詳しくはP12へ

緑に親しむイベントやコンテストなどの開催

一人一花サミット

毎年10月に都市緑化啓発イベントを開催。緑のまちづくり協会が事務局を務めています。



一人一花スプリングフェス

4月に警固公園で開催される緑化啓発イベントを共催。



花と緑のまちづくり賞、写真コンテスト

緑化の啓発を目的に、緑のまちづくり協会が実施するコンテスト。



緑化助成 緑あふれる街並みの形成を目的として、道路から見える民有地緑化に助成します。



都市緑化基金の運営

情報誌「まちとみどり」の発行

調査研究

都市緑化に関する調査研究を行っています。



緑のまちづくり協会では福岡市が花と緑あふれるまちとなるように花や緑に関する様々な事業を行っています。



街路樹などの維持管理(良好な都市環境の創造、安心・安全なまちづくりの推進)

街路樹維持管理の設計・監督、市民要望対応、巡回点検、応急作業などにより、街路樹を健全に育成・管理するとともに、道路空間における市民の安全を確保するための業務を行っています。



危険箇所の応急作業



街路樹診断



委託者研修

東平尾公園の管理・運営(指定管理)



博多の森陸上競技場



競技場の芝生管理(ベスト電器スタジアム)



詳しくはHPで

[ベストスタバックヤードツアー](#)

[検索](#)

バックヤードツアー

日頃入ることができない選手ロッカールームやスタンドの舞台裏など、リニューアルしたベスト電器スタジアムを見学。ウォーミングアップ場で選手気分を体験したり芝生の管理作業も見ることができます。

舞鶴公園の管理・運営(指定管理)



福岡城址



平和台陸上競技場



イベントの運営(自然観察会)



樹木管理

緑のまちづくり協会駐車場・公園などにおける便益施設管理運営

収益事業について

駐車場や公園便益施設などの管理運営を行っています。都市機能の増進および公園利用者の利便を図るとともに、その収益金を都市緑化推進事業の財源として活用しています。



接道部分を花壇にした駐車場



公園自動販売機



福岡市植物園展望台カフェ